



F 11
カ-21



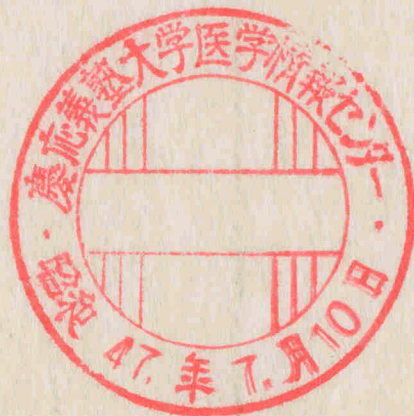
英一千九百零九年

1909



491.1
Ka-2
11

No. 788



富士川文庫

2438

解剖訓蒙卷之十一

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著

日本 文部大助教横井信之譯

脈管論

腋下動脈

腋下動脈 アキテリトリハ鎖骨下動脈ノ連幹ニ

シテ第一肋ノ外縁ヨリ腋ノ下縁ニ達ス爾后上

臂動脈ト為レリ腋窩ヲ通過スル片大鋸筋肩胛

下筋潤背筋大圓筋等ノ上ニ布敷シ胸筋ニテ被

ハル此脈其前面ニハ腋下靜脈アリ後面ニハ初

甲
ア
テ
リ
ア
キ
テ
リ
ス

メ上臂神經叢アリ、漸次ニ下行スルニ從ヒ、其叢ニ圍擁セラレ異常證ニ在テハ、頗ル大支ヲ分出ス、其支多クハ下臂ノ撓骨動脈ニ相當セリ、或ハ稀レニ尺骨動脈又夕骨間動脈ニ相當スルヲアリ、時トシテハ、此支ヨリ、數條ノ小支ヲ細別シ、以テ腋下動脈及ヒ上臂動脈ノ分支ニ代ルヲアリ、此脈經過中ニ、連綿タル許多ノ諸筋支及ヒ水脈腺支ヲ分出ス、其分支ノ至要ナル者ハ、即チ上胸支、肩頭胸支、長胸支、下肩胛支、前反展支、後反展支、是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

甲ホルスト、トラシクアーテリ

第一 上胸支

ソクペリカル、トラシク、アトテリハ、屢第二支 肩頭胸支

同根ニシテ起ルヲアリ、或ハ二根ヲ以テ起ルヲ

アリ、鎖骨下筋ト、小胸筋ノ間ヲ過キ、其筋大胸筋

及ヒ乳房等ヲ榮養ス、

第二 肩頭胸支

ラエックロミナールトハ、小胸筋ノ上

部ニ上リ、分歧シテ、諸支ト為リ、胸筋、三角筋、肩胛

關節、及ヒ肩頭皮下部ヲ榮養ス、而テ肩頭皮下部

ニ於テハ、上肩胛動脈ノ分支ト合吻シテ、共ニ緻

密ナル、結網ヲ為セリ、

第三 長胸支

クアンダクトラシクハ、小胸筋ニ沿ヒ、下テ

乙ガルト、トラシクアーテリ

丙アマムリア、エキステルナ
全セコント、トラシクアーテリ

乳房腺及ヒ大鋸筋等ニ蔓布ス、

甲 ア、スカプラリス、ス、カ、プ、ラ

第四 下肩胛支 シユブスカ。ヒュラーハ、腋 下動脈ノ分

支中ニ於テ、最モ大支タリ、肩胛ノ外縁ニ下リ、肩

胛下筋、大鋸筋、大圓筋、及ヒ濶背筋等ニ分布ス、其

經過中ニ、別ニ一支ヲ分出ス、即チ左支是ナリ、

乙 ア、ドルサリス、ス、カ、プ、ラ

肩胛背支 ドルサル、アル、ス、カ、ヒュ ハ、大圓筋ト、肩胛

下筋ノ間ヲ過キ、肩胛ノ外縁ニ沿ヒ、棘下窩ニ

達シ、其部ノ筋ニ蔓布シ、上肩胛支及ヒ後肩胛

支ト合吻ス、

丙 ア、シ、ル、コ、ム、フ、キ、サ、ア、テ、リ、オ、ル

第五 前反展支 アンテリオル、シ、ル、コ、ム ハ、小支ニ

シテ、前外方ニ向ヒ、上臂骨結節ノ下部ヲ廻リ、肩

胛關節ヲ榮養シテ、次支ト合吻ス、

第六 後反展支 ポステリオル、シ、ル、コ、ム ハ、前支ヨ

リモ、稍大ニシテ、後方ニ向ヒ、三頭伸筋ト、上臂骨

ノ間ヲ廻リ、三角筋ニ達シ、分布シテ、其部ヲ榮養

シ、而テ數支ヲ分出シ、乃チ肩胛關節ニ於テ、前支

上肩胛支、及ヒ肩頭胸支ト合吻ス、

甲 ア、シ、ル、コ、ム、フ、キ、サ、ア、テ、リ、オ、ル

上臂動脈

上臂動脈 ア、ブ、ラ、テ、キ、ア、ル、ハ、腋 下動脈ノ連幹ニシ

テ、腋ノ外縁ヨリ、上臂ノ内側ニ下行ス、其初メ、濶

背筋ト、肩胛骨ト、肩頭胸支ト合吻ス、

上臂動脈

上臂動脈 ア、ブ、ラ、テ、キ、ア、ル、ハ、腋 下動脈ノ連幹ニシ

乙 ア、テ、リ、オ、ル、シ、ル、コ、ム

上臂動脈

上臂動脈 ア、ブ、ラ、テ、キ、ア、ル、ハ、腋 下動脈ノ連幹ニシ

テ、腋ノ外縁ヨリ、上臂ノ内側ニ下行ス、其初メ、濶

背大圓兩筋ノ附着腓ニ對向シテ起リ、漸次ニ下
 テ、烏喙上臂筋、三頭伸筋及ヒ上臂筋上ニ布置シ
 肱關節ノ下方、即チ殆ト一指横徑ノ処ニ於テ、分
 岐シテ、二支ト為ル、其一ハ、尺骨動脈ニシテ、一ハ
 撓骨動脈是レナリ、其關係、中臂神經ハ、初ノ外側
 ニアリ、逐次ニ前部ヲ起ヘ、終ニ内側ニ反轉ス、尺
 骨神經ハ、初ノ内側ニアリ、而テ漸徐ニ分開シテ、
 肱肘ニ達ス、此動脈ハ、二条ノ靜脈ト伴行ス、而テ
 貴要靜脈ハ、其上表ニ在リ、此動脈ノ全徑、殆ト上
 臂筋莢及ヒ外皮ノミニ被ハル、故ニ之ヲ露裸

スルコト、甚タ容易ニシテ、且ツ近傍ノ諸筋ヲ毀損
 スルニ至ラス、又タ肱肘前面ニ於テ、短廻前圓筋
 ト廻後筋ノ間ヲ穿過スル片、二頭筋腓ノ莢芽ニ
 テ被ハル、
 此動脈ハ、上臂中、何ノ部位ヲ撰ハス、二條ノ大支
 ニ分岐スルコトアリ、此ヲ變形スル片ハ、其關係ヤ、
 殊ニ急セニスヘカラス、
 此動脈ハ、其分支ノ員数ト、順序ニ至テ、變異甚タ
 多シ、然レモ、尋常之ヲ分點スルコト、左ノ如シ、大支
 上深在動脈、下深在動脈、骨髓動脈、筋肉動脈、吻口

甲 アユルテラリス、マクナ
全 アスヒラリス

動脈 撓骨動脈 尺骨動脈 是ナリ、以下之ヲ辨説ス

第一 上^甲 深在動脈 ソンド、アリテリ、ハ、最モ大支ナリ、然レモ、末梢ノ分岐ニ比スレハ、其次タリ、筋螺旋神經ト、伴行シテ、三頭伸筋ト、臂骨ノ間ニ布置シ、上臂ノ外部ヨリ、長廻後筋ト、前上臂筋ノ間ニ下リ、肱肘ニ達ス其經過中、烏喙上臂筋、三頭伸筋、前上臂筋、及ヒ長廻後筋ヲ榮養シ、肘部ニ於テ、尺骨動脈、骨間動脈、撓骨動脈等ノ反轉支、及ヒ下溪在動脈、吻口動脈ト合吻シテ密結ス、

第二 下^乙 溪在動脈 ソンド、アリテリ、ハ、小支ニ

乙 アユルテラリス、フリマ

甲 アユトリヤ、フメリ

乙 ラミ、モスキユラリス

シテ、上臂動脈ノ殆ト真中ヨリ起リ、尺骨神經ト伴行シテ、三頭伸筋ノ内側ニ沿ヒ、下テ内髁ト肱突起ノ間ニ至リ、前上臂筋ヲ榮養シ、而テ尺骨反轉支、及ヒ吻口動脈ト合吻ス、

第三 骨^甲 髓動脈 アミドテラリル、ハ、小支ニシテ、亦タ上臂動脈ノ殆ト真中ヨリ起リ、上臂骨ノ髓孔ニ穿入シテ、其髓ヲ榮養ス此脈、上臂動脈分支ノ復分支ナルコトアリ、

第四 筋^乙 肉動脈 アトスキユラリル、ハ、數條ノ小支ニシ

テ、烏喙上臂筋、二頭屈筋、三頭伸筋、及ヒ前上臂筋

等ニ散布ス、

甲アアナストモチカ

第五 吻口支

アナストモチカツハ、上臂動脈ノ下部ヨ

リ起リ、内髁ニ下リ、尺骨反轉支、及ヒ深在動脈ト

合吻ス此動脈、及ヒ深在動脈ハ、共ニ尺、撓兩骨、及

ヒ骨間動脈等ノ反轉支ト、合吻且ツ密結シテ、緻

網狀ヲ造成シ、以テ肘關節、及ヒ諸骨按スルニ上

尺撓云フ、兩骨上ノ海綿端ヲ、纏絡シテ榮養ス、

撓骨動脈

撓骨動脈 アラジテアールルハ、尺骨動脈ヨリモ、稍ヤ細

小ニシテ、其方向ニ順フテ、之ヲ觀レハ、上臂動脈

乙ア、ラジアリス

ノ連管ノ如シ、下臂ノ前外側ニ沿ヒ、長廻後筋ト、

撓腕屈筋ノ間ヲ過キ、撓骨下端ニ達シ、手腕ノ外

側ヲ廻リ、拇伸筋腱ノ下ヲ過キ、腕骨ノ后部ニ至

リ、第一對掌骨間ニ竄入シ、手掌ニ達シ、深在掌弓

ニ終ル、

此動脈ノ經過、其始メハ、二頭屈筋ノ腱、及ヒ短廻

前圓筋根ノ上表ニ布置シ、而テ長廻後筋ノ内、部

ニテ蔽ハル、漸ニ下テ長屈拇筋、廻前方筋、及ヒ撓

骨ノ上表ニ在リ、而テ筋莖、外皮ノニニ蔽ハル、故

ニ手腕ニ於テ、此動脈ノ擊搏 ホル ヲ診シテ、血液

運行ノ景况ヲ察知スルニ甚タ便ナリトス、其關係ハ一雙ノ静脈ト伴行シ、且ツ一部ハ、撓骨 神經ト併居ス、

此動脈ノ異變證ニ於テハ、上臂動脈ノ高位ヨリ分岐シ、其内側ニ沿ヒ、漸ニ下テ反轉シ、乃チ外側ニ廻リ、肱肘ニ達シ、上臂筋莖ヲ穿通シテ、皮下ニ至リ、下臂ノ外側ニ下ル而テ間或ハ、肱肘ヨリ、常路ヲ取ルコトアリ、其分岐支ハ、左ノ如シ、

撓骨 反轉動脈、筋肉支、前腕骨動脈、拇球動脈、後腕骨動脈、掌骨動脈、拇指大動脈、撓示指動脈、深在掌

甲 アレモルニス、ラニアリス

弓是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一 撓骨 反轉動脈 ラジホ、アレテコルレ ハ、撓骨動脈

起根辺ヨリ起リ、長短兩廻後筋ノ間ニ上行シテ、

外髁ニ達シ、廻後筋及ヒ伸筋等ノ近傍ヲ榮養シ、

上深在動脈ト合吻ス、

第二 筋肉支 ブレスキュラス ハ、數條ノ小支ニシテ、

即チ 撓骨動脈、經過中ニ於テ、近傍ノ諸筋ニ分與

スル者ナリ、

第三 前腕骨動脈 アンテリオル、カルハ、小支ニシ

テ、撓骨動脈ノ下部ヨリ起リ、撓腕關節ノ前面ニ

乙 アカルピ、アンテリオル

下リ、尺骨動脈ノ同名支ト合吻シ、以テ腕關節ヲ榮養ス、

第四 拇球動脈 ホテリール、アハ、 撓骨動脈、將ニ腕後

ニ廻屈セントスル處ヨリ、起レル小支ニシテ、其大小、及ヒ位置ハ、常ニ同シカラズ、而テ拇球ノ前

部ニ下リ、其部ノ諸小筋ヲ榮養シ、且ツ淺掌弓ヲ助成ス、

第五 後腕骨動脈 ポステリオル、カルハ、 小支ニシ

テ、撓骨動脈ノ後部ヨリ起リ、伸筋腱ノ下方ニ於テ、腕骨ノ後面ト交叉シテ、尺骨動脈ノ同名支ト

甲 ラミニス、ホラリス

乙 カルピ、ホステリオル

甲 アインテルオッシ、ドルサリス、プリマ

乙 アプリンシプス、ボレキス

丙 ア、ホラリス、ボルキス、シ、アリス、エト、ユルリス

合吻シ、乃チ弓ヲ結成シ、其弓ヨリ、數支ヲ分出シテ、腕關節ヲ榮養ス、其分支、或ハ外側三個ノ掌骨間ニ進ミ、又々各、分岐シ、即チ一對ト為リテ、指背ノ對側ニ循ル、

第六 掌骨動脈 ルメ、アタカル、 小支ニシテ、第一

對ノ掌骨間ニ下リ、分岐シテ、三支ト為リ、拇指ノ兩側、及ヒ示指ノ外側ニ循ル、

第七 拇指大動脈 テプリン、クパ、ル、 ハ、手掌部ニ

於テ、撓骨動脈ヨリ起リ、第一掌骨ヲ下リ、分岐シテ、二條ノ指動脈ト為リ、拇指ノ兩側ヲ循リテ、其

指端ニ至ル

第八 撓示指動脈 キラジ、アール、イン、デ ハ、前動脈ト

密接シテ起リ、示指撓側ヲ下リ、其指端ニ循ル、

第九 深在掌弓 デル、アップ、パルマ ハ、撓骨動脈ノ末梢

ト、尺骨動脈ノ結合支 コム、ミ、ニ、カ、リ、テ ヨリ、結成

スル者ナリ、掌骨ノ上部ニ横居シテ、屈筋腱ノ下

ニ在リ、而テ三支ヲ分出ス、曰ク、**反行支**、**穿通支**、**骨**

間動脈是レナリ、

△ **反行支** ブレ、コ、ル、チ、ス ト、ハ、上行シテ、前腕骨動

脈ト合吻ス、

甲 アラジ、アリス、イン、デ、ス

乙 アキス、パルマ、チ、マ

丙 ラミ、レ、コ、ル、ン、ツ

甲 ラミ、イン、テル、オ、ヤ、ハ、ホ、ラ、ス

乙 アイン、テル、オ、ヤ、ハ、ホ、ラ、ス

丙 ア、ユル、ナ、リス

B **穿通支** ペ、ル、ホ、ラ、チ、ス ハ、骨間ノ上部ヲ穿過

シ、後腕骨動脈分支ト合吻ス、

C **骨間動脈** ス、イ、ン、テ、ル、オ、シ、ウ、ス ハ、骨間筋ヲ榮養

シ、淺在掌弓ノ指支ト合吻ス、

尺骨動脈

尺骨動脈 ア、ユ、ル、ナ、リ、ル ハ、上臂動脈第二ノ分歧支

ニシテ、内方ニ向ヒ、内踝ヨリ突起ノ諸筋下ニ循

リ、下臂ノ内側ニ於テハ、尺腕屈筋ト表諸指屈筋

ノ間ヲ過キテ、手腕ニ達ス、豆骨側ニ於テハ、前環

狀靱帶ヲ超ヘ、手掌ニ至リ、淺在掌弓ヲ形成シテ

終ル經過中其初メハ、前上臂筋ノ根尾ニ安置シ、後子深諸指屈筋ノ表上ニ布置ス其關係ハ、二條ノ靜脈及ヒ尺骨神經ト併行ス、

此動脈稀為證ニ於テハ、上臂動脈ノ高位ヨリ分岐シテ、肘肱ニ達ス、然ル片ハ、内方ニ倚リ、屈筋ノ

下方ニ通過セスシテ、其頭ヲ超ヘ、漸ニ下テ、下臂ニ至リ、而テ常路ヲ取レリ其分支ハ、左ノ如シ、

尺骨反展動脈、普通骨間動脈、筋肉支、後腕骨動脈、前腕骨動脈、結合支、淺在掌弓是ナリ、以下之ヲ辨

説ス、

甲
ア、レ、コ、ル、レ、ス、ユ、ル、ナ、リ、ス

第一尺骨^甲反展動脈レユルナアル、レコルハ、肘肱ノ

直下ニ於テ、尺骨動脈ヨリ起リ内髌ヨリ發起ノ諸筋下ヲ上行シ、以テ屈筋頭ヲ榮養シテ、下深在

動脈、吻口動脈、及ヒ肘部ノ他ノ動脈ト合吻ス此脈、屢ニ支ヲ起シ、以テ代ルコトアリ、

第二普通骨間動脈シコムモン、イトテリルオハ、撓骨

結節ノ近部ニ於テ、尺骨動脈ヨリ起リ、漸次ニ分岐シテ、即チ前後ノ骨間動脈ト為ル此動脈、時ト

シテハ、上臂動脈ノ支別ナルコトアリ、又或ハ尺骨動脈、變異シテ、高位ヨリ起ル片ハ、撓骨動脈ト同

乙
ア、レ、コ、ル、レ、ス、ユ、ル、ナ、リ、ス

甲 アイテラオジ、ホステリオル

ク、上臂動脈分岐ノ末梢タリ、

〔A〕前骨間動脈 アシクタリス、アール、インテル ハ、骨間

膜ノ前面ヲ下リ、廻前方筋ニ達シ、骨間膜ヲ穿

通シテ、腕背ニ至リ、後腕骨動脈ニ合吻ス其經

過中、更ニ數支ヲ分出シテ、近傍ノ諸筋ニ循ル

〔B〕後骨間動脈 ポステリス、アル、インテル ハ、骨間

膜ノ上部ヲ穿通シ、下臂背ニ至リ、普通諸指伸

筋ノ下面ヲ下リ、腕ニ達ス其經過中、近傍ノ諸

筋ヲ榮養シ、且ツ前骨間動脈及ヒ後腕骨動脈

ト合吻ス此脈ノ上部ニ於テ、骨間動脈及展支

乙 アイテラオジ、ホステリオル

丙 アインテルオツシトレコ
ルレンス

ルインテルオシクタリス、レコヲ分出シ、短廻後筋、肱

筋ノ下面ヲ上リ、肱突起ト、外髁ノ間ニ至リ、上

深在動脈及ヒ撓骨及展動脈ト合吻ス、

第三筋肉支 モスキュラス ハ、數條ノ小支ニシテ、

近傍ノ諸筋ニ循ル、

第四後腕骨動脈 ポステリス、アル、インテル ハ、其大サ一

定セス、尺骨動脈ノ下部ヨリ起リ、尺腕屈筋ノ腱

下ヲ廻リ、以テ腕背ニ至ル、而テ手及ヒ小指内側

ニ於テ、掌骨支ヲ分出シテ、撓骨動脈ノ同名支ト

合吻ス、乃チ終ル、

甲 アカルビ、ホステリオル

乙 アイテラオジ、ホステリオル

甲 アカルピ、アンテリカル

乙 アコムミニユカンス

丙 アーキユス、ホラリス、
シブリミユス

角 奇 蒙 糲 之 土

第五 前腕骨動脈 パールテリカルハ、前支ニ比

スレバ、小ニシテ、外方ニ向ヒ、腕ノ前面ヲ過キテ、

撓骨ノ同名支ト合吻ス

第六 結合動脈 コムミニユカニカリテハ、尺骨動脈ノ豆

骨部ヲ過ル後、直ニ分出シタル一支ニシテ、

小指ノ短屈筋ト、外送筋ノ間ニ沈ミ、深在掌弓ヲ

助成ス、

第七 淺在掌弓 ルソマペルルヒアテリルハ、尺骨動脈

ノ末梢ニシテ、外方ニ向ヒ、手掌ニ彎曲シ、諸屈筋

腱ノ上、手掌筋莖ノ下ニ至リ、撓骨掌動脈ニ合吻

ス此弓ヨリ、四條ノ指動脈ヲ分出ス、即チ左ノ如
シ、

第一 指動脈 アジキタリルハ、手及ヒ小指ノ内側

ニ沿ヒ、走りテ末端ニ達ス、其餘ノ指動脈

ル、アステハ、第一掌骨間ノ外ハ、他ノ掌骨間ヲ

下リ、諸指根ニ至リ、各分岐シテ、二支ト為リ、即

チ諸指ノ對側ニ走り、以テ指端ニ循ル、

手動脈ノ位列ハ、屢異變アリ、時トメハ、尺骨動

脈ノ淺在掌弓ヲ助成スルニ於テ、頗ル減下シ、

撓骨動脈ヨリ、之ヲ多分ニ形成スル丁アリ、或

ハ両動脈共ニ減下シ、淺在掌弓ノ連続殆ト缺損シテ、各個ノ片側ヲ榮養セリ、又或ハ深在掌弓、最モ大ニシテ、手及ヒ指ノ榮養ヲ主トルアリ、

胸腔大動脈

胸腔大動脈 アトラルタク ハ、背椎第三片ノ左側ニ於テ、大動脈弓ノ末端ヨリ起リ、脊椎柱ノ左側ヲ下リ、漸次背脊中線ニ近邇シ、遂ニ背椎ノ第十二片ニ至リ、殆ト真中ニ位ジ、茲ニ於テ、横膈大動脈孔ヲ通過シテ、腹腔大動脈ト為ル其關係心胞及ヒ左

甲 アラルタ、トラキキマ

肺根抵ノ後部、即チ後縦隔洞ニ位ス、右側ハ胃管、奇靜脈、胸管、左側ハ左胸膜、左肺ニ接ス、此大動脈ノ諸支ハ、皆ナ小支ナリ、而テ漸次ニ分岐スル、左ノ如シ、

心胞動脈、氣管支動脈、胃管動脈、縦隔動脈、肋間動脈

是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一 心胞動脈 アペルカルジアキ ハ、心胞近傍部ニ

分典セル、微細支ナリ、

第二 氣管支動脈 アプロンキアリス ハ、其數ニ条或

三條アリ、時トシテハ、一幹ニテ起ル、アリ、而テ

甲 アペルカルジアック

乙 アプロンキアリス

氣管支ニ、隨テ行キ、隨テ分レ、以テ兩肺ニ瀰蔓ス
時トシテハ、或ハ右側ノ氣管支動脈、其同側ノ第
三肋間動脈ヨリ、起ルコトアリ、

甲 アウソ。パジ

第三 食道動脈 アウソ。パジ。アール。ハ、其數四條、或ハ
五條ニシテ、食道ヲ榮養ス、

乙 アメジ。アスチナカ

第四 縱隔動脈 ルメジ。アスチナカ。ハ、數條ノ小血管
ニシテ、近傍ノ胸膜、及ヒ水脈腺ニ分布ス、

丙 アイニテルコスタリス

第五 肋間動脈 ルアイニテルコスタリス。ハ、其數、各側共
ニ、十條ニシテ、背椎ノ体ニ當テ、大動脈ノ後部ヨ
リ起リ、上外方ニ向ヒ、肋間部ニ至リ、分岐シテ、前、

甲 ラニユス。アンテリオル

背ノニ支ト為ル、蓋シ右側ノ十條ハ、左側ヨリモ
長シ、是レ他ナシ、大動脈、固ト左側ニ偏位スル故
カリ而テ、其二支、即チ左ノ如シ、

天前支 ルアンブレテリチオ。ハ、外方ニ向ヒ、胸膜下ヲ過

キ、二個ノ肋間筋ノ間ニ竄入シ、總肋ノ下縁ヲ
循ル、其經過中ニ、數支ヲ分出シテ、肋間筋、大鋸
筋、胸筋等ニ循リ、而テ其適宜ノ大支ハ、下テ總
肋ノ上縁ヲ循リ、他支ハ、内乳動脈ノ前肋間支、
及ヒ腋下動脈ノ胸支ト合吻シ、下位ノ三支ハ、
腹筋ニ展延シテ、上腹動脈ト合吻ス、婦人ニ於

甲
アリス、ドルサリス

テハ、第三乃至第六肋間動脈ノ前支別ニ數条ノ小支ヲ分出シテ、乳腺ニ循ル。

地 背支 **ア**ブルンサチルハ、先ツ一支ルスパレイナチヲ

分チテ、椎間孔ニ入り、即チ髓管ノ容積ニ按スル

及ヒ被膜中ニ循ル之ヲ脊髓支ト稱ス。次ニ后

方ニ向テ、横突起間ヲ過キ、背ノ諸筋ニ分布ス。

腹腔大動脈

乙 腹腔大動脈 **ア**ブルンサチルハ、先ツ一支ルスパレイナチヲ

背椎ノ第十二片ニ當テ、横膈竅ヲ穿過シ、乃チ窮

止スル処ニ接シテ起リ、而テ脊椎柱前面ノ稍ヤ

乙
アナルタ、アブドミ
ナリス

左側ニ位シ、下テ腰椎ノ第四片ニ達シ、分岐シテ

二條ノ普通腸骨動脈ト為ル。其關係、前面ニハ、肝、

脾靜脈、脾十二指腸、左腎靜脈、及ヒ腹膜アリ、右側

ニハ、下大靜脈アリ、而テ其間ニ、横膈ノ右脚、胸管

ノ始端、及ヒ奇靜脈ヲ挿置ス。此動脈ノ分支ハ、數

条ニシテ、且ツ大ナリ、而テ四條ハ、其根、單ニ兩側

匹同ニシテ、且ツ中線ニ位ス、他ハ、互ニ相對ス、蓋

シ其單支ハ、即チ**内臟軸**、**上腸間膜動脈**、**下腸間膜**

動脈、**中薦骨動脈**ニシテ、其對支ハ、即チ**横膈動脈**、

副腎動脈、**腎動脈**、**精系動脈**、**腰椎動脈**ナリ、以下之

ヲ辨説ス、

内臓軸

内臓軸ククアキリスハ短大ノ一幹ニシテ、腹腔大動

脈ノ始端ヨリ起リ、前方ニ突出シ、三条ノ了支ヲ

生ス其關係、下部ハ臍、各側ハ半月様神經節ト接

ス其分岐支ハ、即チ冠動脈、肝動脈、脾動脈是ナリ

第一冠動脈アコロテリハ、内臓軸分岐中ノ最小

ナル者ニシテ、上左方ニ反轉シ、胃ノ贛門ニ達シ、

漸次ニ小灣ニ循ル、而テ小網ノ層間ニ位シ、細別

シテ、數支ト為リ、食道ノ下部、及ヒ胃ノ両側ヲ榮

甲ア、クローリアカ

乙ア、コロナリア

甲ア、ヘパチカ

乙ア、ピロリカ

養シ、終ニ諸他ノ胃動脈ト合吻ス、

第二肝動脈ヘパチクハ、内臓軸分支中、第二ノ

大ナル者ニシテ、斜メニ上方ニ上リ、小網ノ右縁

ニ達シ、分岐シテ、二支ト為リ、共ニ肝ノ横溝ニ竄

入ス其關係、後部ニハ門脈、右側ニハ胆管アリ其

末梢分支ハ、幽門動脈、胃十二指腸動脈、臍十二指

腸支、右胃腸網支、右肝支、胆臓支、左肝支是ナリ、

イ幽門動脈アピロリクハ、小支ニシテ、下方ニ

向ヒ、胃ノ小灣ニ沿ヒ、右ヨリ左ニ循リテ、冠動

脈ト合吻ス、

甲 ア、カストロ、デ、オ、テ、ナ、リス

乙 ア、バンクレ、キ、ス、デ、ユ、オ、テ、ナ、リス

丙 ア、コロナリヤ、デ、キ、ス、ト、ラ、イ、ン、ヘ、リ、オ、ル

角音訓家 卷之七

口胃十二指腸動脈 ガストロ、デオ、テ、リ、ハ、大支
ニシテ、幽門ノ後部ヲ下リ、分岐シテ、二支ト為
ル、即チ左ノ如シ、

ハ、脾十二指腸支 パ、ン、ク、レ、テ、イ、ク、デ、オ、デ、ハ、脾頭

ト、十二指腸ノ間ヲ循環リ、茲ニ分布ス、

ニ、右胃腸網支 プ、ラ、イ、ト、ガ、ス、ト、ロ、エ、ヒ、ハ、胃ノ大

灣ニ沿ヒ、右ヨリ左ニ展延シテ、左胃腸網支ト

合吻ス其經過中ニ、數支ヲ細別シテ、胃ノ両面

ニ循環リ、小灣ノ動脈支ト合吻ス又別ニ纖長ノ

小分支アリ、下方ニ向ヒ、大網ニ循ル、之ヲ腸網

甲 ア、ヘ、パ、チ、カ、テ、キ、ス、ト、ラ

乙 ア、キ、ス、チ、カ

丙 ア、ヘ、パ、チ、カ、レ、ニ、ス、ト、ラ

丁 ア、ス、フ、レ、ニ、カ

支ヲ稱ス、

ホ、右肝支 レ、ラ、ン、イ、チ、ト、ダ、ハ、肝ノ横溝ニ右側ニ入り、

分岐シテ二支、或ハ三支ト為リ、肝ノ右葉ニ竄

入ス、

ハ、胆臓支 キ、ス、リ、テ、イ、チ、ア、ハ、右肝支ノ分支ニシテ、

前方ニ反轉シ、胆臓ヲ榮養ス、

ト、左肝支 レ、ン、フ、チ、ト、ダ、ハ、右肝支ヨリモ小ニシテ、

横溝ノ左側ニ入り、左葉ニ蔓布ス、

第三脾動脈 ア、ス、フ、レ、ニ、キ、ハ、内臓軸分支中ノ最大

ナル者ニシテ、右側ニ向ヒ、迂曲シテ、脾ノ上縁ニ

甲 ア。パンクレアチツカ

沿ヒ、脾門ニ竈入ス其分岐支ハ、**脾動脈**、左胃腸網支、**短胃動脈**、**脾支**是ナリ、

天^甲**脾動脈** ア。パンクレアリ、タイリ、ハ、脾動脈ヨリ起リ、脾位ニ準沿シテ賦與ス蓋シ其數及ヒ大小ハ、各人齊シカラス、

地^乙**胃腸網動脈** プレフト、ガストロ、エ。ヒ、リ右方ニ向ヒ、胃ノ大湾ヲ廻リ、右側ノ同名支ト合吻シテ終ル、而テ胃ノ兩側ニ分布セリ、

玄^丙**短胃動脈** キ、アルト、ガストロ、ハ、其數三條、乃至六條ニシテ、脾動脈ノ末梢ヨリ起リ、胃底ニ循

乙 ア。コロナリヤ、シニスト
ラ、インヘリオル

丙 ア。ガストロ、プレビス

甲 ラ。ミ、ス、プレニツキ

乙 ア。メンセントリカ、
ソベリオル

リ、其部ノ諸他ノ動脈ト合吻シ此動脈、或ル他支ヨリ、起ルコトアリ、

黄^甲**脾支** ブスプレニツキ、ハ、其數五条、或ハ五条ヨリ多ク、而テ母動脈按スルニ、脾動脈ナリ、脾ヨリ、分散シテ、脾門ニ入ル、

上腸間膜動脈

上^乙**腸間膜動脈** トリッキ、ア、リ、セン、ハ、大支ニメ、

内臓軸ノ直下ニ位シ、大動脈ノ前面ヨリ起リ、**脾**後ヲ經ヘ、十二指腸ノ前面ヲ下リ、下左方ニ向ヒ、乃チ腸間膜内ニ入り、又々漸次ニ、右臍部ニ向ヒ、

自己ノ廻結腸支ト合吻ス其分支ハ即チ十二指腸支空廻腸支廻結腸支中結腸支是ナリ以下之ヲ辨説ス

甲 アデユオデナリス、イ
ンヘリオル

第一十二指腸支アデユオデナリス、ハ、十二指腸ノ位置

ニ從ヒ、後方ニ循リテ、其部ヲ榮養シ、支別シテ臍ヲモ亦多榮養ス

乙 アインテス、チナリス

第二空廻腸動脈アゼジョナル、アル、エンボ、イソハ、其數

十五條、或ハ十五條ヨリモ多クシテ、母動脈按ニ、

上腸間膜ノ凸面、即チ左側ヨリ起リ、散布シテ、小動脈ナリ、彌蔓ス其經過中ニ於テ、腸間膜内ニ

腸ノ全徑ニ彌蔓ス其經過中ニ於テ、腸間膜内ニ

在テハ、各、分了シテ、近隣ノ分支ト結合シ、以テ數

弓ノ一列ヲ形成ス此弓ヨリ、懸多ナル小支ヲ起

シ、又結合シテ、第二弓列ヲ形成シ、此弓、又同式ヲ

以テ、第三弓列ヲ成ス是等ノ列弓、漸次ニ細小、且

ツ懸多ト為リ、而テ末位ノ弓ヨリ、數條ノ細支ヲ

起シ、空廻二腸ノ側壁ニ分散シ、乃チ互ニ合吻ス、

第三廻結腸支イレヲコリック、アトテリ

第四右結腸支ライト、コリック、アーテリ

第五中結腸支ミットル、コリック、アーテリ

以上三支ハ、上腸間膜動脈ノ凹面、即チ右側ヨリ

甲 アイレヲ、コリカ

乙 ア、コリカ、デキストラ

丙 ア、コリカ、メシヤ

起リ、順次ニ下列ス而テ各分岐シテ、二支ト為リ、其隣傍ノ支、母動脈按スルニ上腸間膜動脈ノ末梢、及ヒ左結腸動脈ノ上支ト共ニ、結交シテ、四個ノ大弓ヲ形成ス此弓、第二動脈ノ如ク、逐次ニ數列ノ弓ヲ成シ、其弓ノ數支ハ、廻腸ノ末端、盲腸、結腸ノ上行部及ヒ横行部等ニ彌蔓ス、

下腸間膜動脈

甲ア、コリカ、ニストラ
 甲ア、メンセンテリカ
 下腸間膜動脈ニト、リッヘリオル、テメリヤハ、大動脈ノ前面、上腸間膜動脈ノ下方、ニ「インチ」ノ処ヨリ起リ、左臍部ニ下リ、數支ヲ分出シテ、結腸ノ下行部

及ヒ直腸ヲ榮養ス其分支ハ、即チ左結腸動脈ノ狀部動脈上痔動脈是ナリ、以下之ヲ辨説ス、

第一 左結腸動脈アレフト、コリック、ハ、左側ニ向ヒ、分岐シテ、二支ト為リ、其一ハ、中結腸動脈他支ハ、

狀部動脈ト、連結シテ、一雙ノ弓ヲ助成ス此弓、亦々不齊ノ小弓、一列ヲ形成ス而テ又數支ヲ起シ、結腸ノ下行部ニ循ル、

第二 狀部動脈アングモイド、ハ、左結腸動脈、及ヒ

上痔動脈ト合吻シ、以テ數弓ヲ形成ス此弓ヨリ、又數支ヲ起シ、結腸ノ狀部ニ循ル此脈稀レニ

乙 ア、コリカ、ニストラ
 エ、インヘリオル

甲 ア、コリカ、ニストラ

甲 ア、メンセンテリカ

甲
アヘモルロイダリ
スソペリオル

第一動脈ト起根ヲ偕モニスルコトアリ、又或ハ二根ヲ以テ起ルコトアリ、

第三^甲上痔動脈イソダベリオル、アルヘモルロハ、下腸間膜

動脈ノ末梢ニシテ、第二支ト合吻ス直腸ノ後部ニ下リ、分岐シテ、二支ト為リ、其側壁ニ分布シ、而

テ中下二條ノ痔動脈ト合吻ス、

中薦骨動脈

中薦骨動脈ミットル、サクラハ、小血管ニシテ、大

動脈、分岐ノ後部ヨリ起リ、薦尾骸兩骨ノ正中ニ

沿テ下行ス、蓋シ實ニ大動脈ノ終尾ナリ、意フニ、

乙
アサクラリス、ミジア

甲
ア、フレニカ、

鯨魚、龍蛇、及ヒ其他ノ動物、後足ナキ動物、或ハ後足共尾ニ比スレハ、殆

ト無キ者ニ於テ、其大動脈ノ漸徐ニ展延セシ者

ニ似タリ、此脈、經過中ニ、數支ヲ分與シ、薦骨側動

脈ト合吻ス、

腹腔大動脈ノ對支

横膈動脈プレニツキ、アハ、左右二條ノ小支ニシテ、

腹腔大動脈ノ側壁ヨリ起リ、内臟軸ニ接シテ位

ス、或ハ直ニ内臟軸ヨリ起テ、横膈ノ脚上ニ分走

ス、右側ノ支ハ、下大静脈ノ後外側ニ進シ、左側ノ

支ハ、齊シク食道ト關涉ス、左右共ニ、分走シテ、數

甲 スロンバーリス

支ト為リ、横膈ヲ榮養シ、内乳動脈ノ横膈支及ヒ
肋間動脈ノ末梢ト合吻ス其經過中ニ小支ヲ起
シテ、副腎ニ循ル
腰動脈 ロムバールハ、其起根、方向分布ノ式殆ン
ト肋間動脈ニ齊シ、其數四條アリ、腰椎ノ体ヲ横
行シ、横膈脚及ヒ兎筋ノ下面ヲ過キ、横突起間ニ
至リ、分岐シテ、前後ノ二支ト為ル、

乙 ラミヌス、ズグドミトリス

乾前支 ルア、ブレ、テ、ン、チ、オハ、外方ニ向ヒ、腰方筋ノ後
部ヲ過キ、廣腹筋ニ分布シ、上腹動脈ト合吻ス

丙 ラミヌス、ドルサリス

坤後支 ル、ボス、レ、ン、チ、オハ、背筋及ヒ外皮ニ分布ス

甲 ラミヌス、ハイナリス

別ニ アソペラ、レナリス ヲ分出シテ、椎間孔ニ
入り、脊髓及ヒ被膜ニ循ル、

乙 アツ、プラ、レナリス

副腎動脈 アソペラ、レナリスハ、二條ノ小管ニシテ、
其根脚、上腸間膜動脈ト、水平ニ位シ、大動脈ヨリ

丙 アレナリス

起リ、外方ニ進ミ、副腎ニ分布ス、
腎動脈 レナリスハ、二條ノ大支ニシテ、大動脈
ノ側面ヨリ起リ、上腸間膜動脈ノ直下ニ位ス、二

條中、右支ハ、左支ヨリモ、稍ヤ下方ニ位シテ、且ツ
長シ、是レ大動脈、脊椎柱ノ左側ニ、偏位スルカ故
ナリ、二條共ニ、外後方ニ向ヒ、横膈脚ノ前面ヲ過

甲ア、スペルマチカ

キ、分出シテ、四條或ハ五條ト為リ、腎門ニ入り、其内ニ蔓布ス又別ニ細小ノ數支ヲ起シ、副腎、腎脂、腎盂、輸尿管ニ循ル、

精系動脈 アスペルマチカ ハ、二條ノ纖キ長支ニシ

テ、大動脈ノ各側ヨリ起リ、腎動脈ノ稍ヤ下部ニ

位シ、各、外方ニ向ヒ、輸尿管ト共ニ、兎筋上ニ下行

ス然レ、尾骨盤縁ニ至テ、互ニ離隔シテ、内腹輪

ニ進ミ、精系ヲ助成シ、下テ睪丸ニ彌蔓ス其經過

中ニ、細支ナ分出シテ、輸尿管ニ循リ、睪丸ノ邊ニ

至テ、紆曲シ、乃チ數支ヲシテ、睪丸室膜ニ循ラシム

甲ア、フバリナ

卵巢動脈 オバリナス ハ、男子ニ於テハ、精系動

脈ナリ、故ニ其起根、經過、殆ト相同シ、尾骨盤縁ニ

至リ、紆曲シテ、廣韃帶ノ皺襞間ニ進ミ、卵巢、喇叭

管、及ヒ子宮ニ循ル、

普通腸骨動脈

普通腸骨動脈 コムモンテリス ハ、腹腔大動脈、末

端ノ分支ニシテ、腰椎第四片ノ体ニ當テ、中線ノ

稍ヤ左側ニ占位シ、左右二管、腰椎第五片ノ兩側

ニ分走シ、直ニ薦腸骨縫合ノ上ニ至リ、各、分岐シ

テ、内外腸骨動脈ノ二管ト成ル此動脈ハ、全經、殆

乙ア、イリアイカゴモンス
アイ、ブリミチーブ

ト二インチニシテ、腹膜及ヒ小腸ニテ蔽ル右
側ノ支ハ、二條ノ普通腸骨静脈ノ湊合部下大静脈ト十部ト交叉ス、

内腸骨動脈

内腸骨動脈リアンテルナール、イハ、短大ノ一幹ニ

シテ、普通腸骨動脈ヨリ起リ、降テ尻骨盤内ニ入

リ、其部ノ諸臓、腎及ヒ生殖器ヲ榮養ス此脈、薦骨

合縫ノ前面ヨリ、大薦坐孔ノ近傍ニ展延シ、分岐

シテ、前後ノ二幹ト成ル、其後幹ジボステリオンナル分

支ハ、腸腰動脈、薦骨側動脈、鎖孔動脈、臀筋動脈ニ

甲
アイルアカインテルナ
全
アイル、ホステリオン

甲
アイルエスロンバールス

乙
アサクラーレス、ラ
テラリス

シテ、前幹ジバステリオンナル、分支ハ、膀胱動脈、内陰具

動脈、坐骨動脈、是生リ

第一腸腰動脈ルイアレオ、ロムバールトハ、外方ニ向ヒ、兔筋

ノ下面ヲ過キ、分岐シテ、二支ト為ル、其一支ハ、上

テ兔筋、腰方筋ヲ榮養シ、腰動脈ト合吻ス他支ハ

腸骨窩ヲ横行シテ、腸骨脊ニ至リ、腸骨筋ヲ榮養

シ、腸骨廻旋動脈ト合吻ス、

第二薦骨側動脈ラテラール、アテリク、スハ、二條ヲ常

則トス、或ハ侶合シテ起ルヲアリ、共ニ薦骨神經

叢ノ前面ニ下リ、中薦骨動脈ト合吻シ、梨子狀筋

田
ア、ヲ、ブ、チ、ユ、ラ、レ、リ

尾骶骨筋、及ヒ肛門舉筋ヲ榮養ス。此脈ヨリ、分起
 數支、薦骨ノ前孔ニ入り、其部ノ神經、及ヒ被膜
 ヲ榮養シ、後孔ニ遁出シテ、腰背ノ筋皮ニ散布ス。
 第三鎖孔動脈ル、ア、ブ、チ、ユ、ラ、レ、リハ、屢、前幹ヨリ起ル
 コアリ、前行シテ、尻骨盤ノ側面ヲ走り、鎖孔ニ入
 リ、外出シテ、内外ノ二支ト為ル。内支ル、ブ、レ、ル、チ
 ハ、内送筋、耻骨筋、及ヒ薄股筋ニ彌蔓シ、内廻旋動
 脈ト合吻ス。外支ル、キ、ス、レ、ル、チハ、鎖孔筋、方股筋、
 孖筋、腓關節、及ヒ坐骨結節ニ附着スル諸屈筋頭
 ニ布蔓ス。此動脈、盤内ニ在テ、無數ノ小支ヲ分與

甲
ア、グ、リ、ユ、ー、テ、ー

シ、腸骨筋、内鎖孔筋、肛門舉筋等ニ循ル。此動脈ハ、
 屢上腹動脈ト、同根ニシテ、外腸骨動脈ノ末端ヨ
 リ起リ、耻骨ノ後部ヲ下リ、鎖孔ニ入り、而テ常路
 ヲ取ルコアリ、

第四臀筋動脈ア、グ、リ、ユ、ー、テ、ーハ、内腸骨動脈ノ後幹

ノ連續ニシテ、尻骨盤内ヨリ、大薦坐孔ノ上部ヲ
 過キ、分岐シテ、深淺ノ二支ト成ル。淺在支ソ、ハ、ル、ビ

ハ、後方ニ向ヒ、中大兩臀筋ノ間ヲ廻リ、其兩
 筋、及ヒ臀部、薦骨部ノ外皮ヲ榮養ス。深在支ス、デ、ブ

ハ、前方ニ向ヒ、中小兩臀筋ノ間ヲ走り、細別

甲ア、グエジカ

シテ、數支ト為リ、其兩筋ヲ榮糧シ、坐骨動脈及ヒ廻旋動脈ト合吻ス、

第五膀胱動脈 グエジカ ル、アハ二條ヲ常則トス

上膀胱動脈 ル、アリオテリ グエジカハ、胎兒ノ臍帶動

脈殘痕ヲ穿過シテ、膀胱ノ側壁ニ達シ、其部ニ分

布ス、其經過中別ニ輸精管動脈 アテレリト、ヲ分

出シテ、輸精管ニ循リ、又一支ヲ分出シテ、輸尿管

ニ循ル 下膀胱動脈 カイシル、アリホル、グエジ ハ、膀胱ノ

下部ニ循リ、攝護腺及ヒ精囊ヲ榮養ス、

第六内陰具動脈 ジク、アールテリ ル、ビユハ、内腸骨動

乙ア、フエシカイニテルナ

甲ア、ヘメルロイダリ
ス、メシア

脈前幹ノ末梢ニシテ、大薦坐孔ノ下部ヲ下リ、盤

外ニ出テ、坐骨棘ヲ廻リ、小薦坐孔ヲ過キ、再ヒ盤

内ニ入り、耻骨弓ノ内側ニ上リ、分歧シテ、莖背蜂

窩ノ二支ト為リ、其他數支ヲ細別シ、其細支ハ、即

チ中痔動脈 下痔動脈 會陰動脈 尿道球動脈 蜂窩

体動脈 莖背動脈 或ハ 廷孔動脈 是ナリ、

△中痔動脈 ル、アハ テリ ロイダハ、陰具動脈將

サニ尻骨盤外ニ出テ、ントスル、前部ヨリ起リ、

直腸ノ下部、膀胱底及ヒ攝護腺ニ循リ、上下ノ

痔動脈ト合吻ス、此脈稀レニ、内腸骨動脈ヨリ、

甲 ア、ヘモルロイダリ
ス、インヘリオル

乙 ア、ペリ子ーイ

丙 ア、タラシス、ヴェルサ、
ペリ子ーイ

直ニ起ルコアリ、又或ハ、下膀胱動脈ト、同根ナルコアリ、
B 下^甲痔動脈 ロイダンハ、ル、アオル、テヘモルハ、陰具動脈ノ盤内ニ還入セシ右ニ起ル所ノ小支ナリ、肛門ノ周圍ニ循ル

C 會陰動脈 ペリ子リルハ、深在會陰筋莖ヲ透過シ、淺表ニ至リ、會陰陰囊ノ後部、或ハ陰唇ニ

分布ス茲ニ一分支アリ、會陰橫筋上ニ於テ、會陰ヲ橫行ス之ヲ 丙會陰橫動脈 タラシス、ヴェルサ、ペリ子ールア、テリ

ト稱ス、是レ外科術ニ於テ、關係少ナカラサル

甲 ア、ボルボーサ

乙 ア、カヴェルノイサ
全 ア、ホロホ、ア、テ、ベス

丙 ア、ド、サリス、ベニス
丁 ア、ド、タリ、リ、テス

者ナリ、

D 尿道球動脈 ボルボ、ウレトラハ、陰具動脈將ニ分岐セントスル、前部ニ當テ起リ、或ハ其末

梢分岐ヨリ起リ、橫行シテ、内方ニ向ヒ、三角韌帶ヲ穿テ、海綿球ニ達シ、勃起組織ヲ榮養ス

E 蜂窩体動脈 カベルノリス、ハ、陰具動脈ノ分岐末梢ニシテ、坐骨支ト、蜂窩体脚ノ間ニ沿ヒ、

稍ヤ走テ、勃起組織ニ入ル、
F 莖背動脈 或ハ 丁延孔動脈 ドル、サール、ア、テ、トリ、ス、ハ、陰具動脈、分岐ノ第二支ニシテ、耻

甲 ア エスキアジカ

骨ト、蜂窩体ノ間ヲ上リ、莖背ニ至リ、進テ龜頭ニ達シ、蜂窩体ノ纖維被膜、龜頭及ヒ皮膚層等ヲ榮養シ、尿道球動脈、及ヒ蜂窩体動脈ト合吻ス

第七 坐骨動脈 アイスキアテクハ 内腸骨動脈、前幹ノ末梢ニシテ、陰具動脈、及ヒ大坐骨神經ト伴行シテ、大薦坐孔ノ下部ヨリ、盤外ニ出テ、坐骨結節ト、大轉子ノ間ヲ下リ、大臀筋下ヲ過キ、數支ヲ分出シテ、大臀筋、小廻股筋、鎖孔筋、羽筋、梨子狀筋等ヲ云フ、尾骶骨周圍、外皮、坐骨神經、及ヒ膀胱關節ニ散布ス、而テ臀筋動脈、廻旋動脈等ト合吻ス、

甲 ア ユテリナ

第八 子宮動脈 ウテリナ 内腸骨動脈、前幹ノ一支ナリ、間、上膀胱動脈ト、同根ニシテ起リ、廣靱帶ノ内ニ走り、紆曲シテ、子宮底ニ上リ、細分シテ、陰門、喇叭管、圓靱帶、及ヒ卵巢ニ循リ、而テ卵巢動脈ト合吻ス、

乙 ア、ガエジナリリス

第九 腔動脈 ウエジナリル モ、亦々内腸骨動脈、前幹ノ分支ナリ、間、或ハ子宮動脈、下膀胱動脈、或ハ中痔動脈ト、同根ニシテ起ル、了リ腔壁、其近傍ノ直腸、及ヒ膀胱等ヲ榮養ス、

外腸骨動脈

甲アイリアカテキステルナ
全ア、イ、ア、ニ、テ、リ、カ、ル

角音言蒙

卷之七

三ノ

乙ア、エ、ヒ、カ、ス、ト、リ、カ
全ア、イ、ン、ヘ、リ、オ、ル

外腸骨動脈 イエキステルナールハ、普通腸骨動脈
 分岐ノ第二支ニシテ、兔筋上ニ位シ、尻骨盤ノ縁
 ニ沿ヒ、走テ股弓下ヲ過キ、股動脈ト為ル此脈初
 ヌ同名静脈ノ前部ニ在リ、漸次ニ廻轉シテ、其外
 側ニ至ル蓋シ盤内ニ在ル片ハ、別ニ緊要ナル分
 支ナシ、股弓下ヲ過ルニ於テ、直ニ上腹、腸骨廻旋
 ノ二動脈ヲ分出ス、

天上腹動脈 ク、エ、ヒ、ガ、ス、ト、リ、ッ、ハ、外腸骨動脈ノ前
 部ヨリ起リ、斜ニ内方ニ向ヒ、腹膜ト横筋莖ノ
 間ニ上リ、腸部ノ直筋ヲ逆行シ、直筋莖ヲ穿通

甲
ス、ル、コ、ム、フ、レ、キ
サ、イ、リ、ア、カ

シ、又其後部ヲ上リ、直筋ヲ榮養シ、而テ乳房動
 脈ノ末梢ト合吻ス此脈、胤蹊管ト交叉シテ、上
 行スル途中ニ、一支ヲ分出シテ、精系ニ循ル而
 テ漸次ニ、數支ヲ細別シテ、廣腹筋ニ散布シ、腰
 動脈、腸骨廻旋動脈ト合吻ス、

地腸骨廻旋動脈 リ、シ、ル、コ、ム、フ、レ、キ、ス、イ、ハ、前支
 ニ比スレハ、稍ヤ細小ナリ、外腸骨動脈ヨリ起
 リ、外方ニ向ヒ、ポーハルト靱帯ノ后部ヲ過キ、
 腸骨嶺ニ達シ、進テ腸骨筋、腹筋ニ支別ヲ附與
 シ、腸腰動脈、腰動脈、及ヒ上腹動脈ト合吻ス、

解剖川

卷之七

三ノ

甲アヘモラリス
アクリユライリス

股動脈

股動脈アヘモラリスハ、外腸骨動脈ノ連幹ニシテ、
 股弓ヨリ、内下方ニ向ヒ、股溝伸筋ト、内送筋ノ間ニアリヲ下
 リ漸次ニ深入シテ、殆ト股下三分ノ一ニ於テ、大
 内送筋ノ附着部ヲ穿過シ、進テ膝膈動脈ト為ル
 故ニ誠ニ、胤蹊ノ中部ヨリ、膝蓋ノ内側マテ、一線
 ヲ引ク片ハ、即チ此脈ノ經過ヲ、略ホ指示スベシ
 其關係、初メ三角部底ハ、ホルト、韃帶、外側ハ、
縫匠筋、内側ハ、内送筋、縁ニ由
テ形ノ真中ヲ過キ、順次ニ耻骨筋、長内送筋、及ヒ
 大内送筋ノ上表ニ布置ス、而テ股弓部ニ位スル

甲アヒエテ、ダ、エキステルナ

辨説ス

片、其内側ニ、同名ノ靜脈アリ、然レモ、下降シテ、大
 内送筋ヲ穿過スル部ニ至テハ、却テ其後部ニ位
 ス此脈、股ノ上三部ノ一ニ位スル片、外皮及ヒ筋
 莖ニテ蔽ハレ、其以下ハ、尚ホ縫匠筋ニテ覆ハル
 其分支ハ、即チ外陰具動脈、淺上腹動脈、腸骨淺廻
 旋動脈、深股動脈、筋支、吻口動脈是ナリ、以下之ヲ

第一 外陰具動脈

エキステルナリス、ハ、二條或

ハ三條ノ小支ニシテ、股動脈ノ始端ヨリ起リ、耻
 骨筋、篩板ノ両莖間ヲ過キ、陰部ニ達シ、陰莖、及ヒ

甲 ア、エ。ヒガストリカ、ソ
ペルヒシアリス

陰囊ノ外皮婦人ニ於テハ、陰阜、及ヒ陰唇ニ循ル
第二淺上腹動脈ア、ソ、ペルヒシヤール、エ。ヒガハ、股弓
ノ稍ヤ下部ヨリ起リ、縫匠筋、及ヒ鑷狀突起ヲ穿過
シ、淺腹筋、及ヒ内ヲ上行シ、臍廓部ニ至ル、

乙 ア、シルコムフレキサイ
リ、ソ、ペルヒシアリス

第三腸骨淺廻旋動脈ア、ソ、ペルヒシヤール、シルコム
リハ、屢上腹動脈ヨリ起リ、ポーハルト韃帶ニ沿
ヒ、逆行シテ、腸骨ニ達シ、細分シテ其筋、及ヒ透過シ、
鼠蹊部、及ヒ其外皮ニ循ル、

丙 ア、プロホシダヘモリス

第四深股動脈ア、プロホウ、ア、ソ、ペルヒシヤール、ヘモ
韃帶ノ下、一インチ、或ハ二インチノ処ニ於テ、股

甲 ア、シルコムフレキ
サイ、インテルナ

動脈ノ外後部ヨリ起リ、巨大ニシテ、母幹ノ連續
ノ如シ、而テ母幹ノ後部ヲ下リ、短長、而内送筋ノ
間ヲ過キ、大内送筋ノ上ニ達シ、末梢分岐シテ、之
ヲ穿過ス、其經過中ニ、數支ヲ分出ス、即チ内廻旋
動脈、外廻旋動脈、穿透動脈、是ナリ、

天内廻旋動脈ア、ソ、ペルヒシヤール、シルコム
動脈ノ始端ヨリ起リ、後方ニ向ヒ、兎筋ト耻骨

筋ノ間ヲ過キ、小轉子ノ上部ヲ越テ、股骨頸ノ
后部ニ達シ、其經過中ニ、支別シテ、腸骨筋、耻骨
筋、薄股筋、外鎖孔筋、内送筋、頭、膝關節等ニ循ル、

甲 ア、シルコムフレキ
サ、エキステルナ

其末梢又々分岐シテ、二支ト為リ、一支ハ、小廻
股筋、及ヒ大臀筋ノ下部ヲ榮養シ、坐骨動脈、及
ヒ臀筋動脈ト合吻ス他支ハ、下テ股方筋、大内
送筋頭、屈股筋等ニ循ル、
地^甲外廻旋動脈^ムエキステルナ、シリルコハ、前
支ヨリモ、大ニシテ、其直下ヨリ起リ、外方ニ向
ヒ、腸骨筋ト直股筋ノ間ヲ過キ、分岐シテ、上行
下行ノ二列ト為ル、上行支ハ、股莖張筋、縫匠筋、
直股筋、小中兩臀筋、外大兩股筋等ニ循ル、下行
支ハ、伸股筋、及ヒ外側ノ皮層等ニ循ル、

甲 ア、ペルホランテス

人^甲穿透動脈

ア、ペルテラリス、ハ、其數三四條ニ

乙 ア、ニユトリナ

シテ、深股動脈ノ直次ノ分岐支ナリ、内送筋ノ
着點ヲ穿透シ、股背ニ至リ、細分シテ、大臀筋、内
送筋、屈股筋等ニ循リ、坐骨動脈、及ヒ廻旋動脈
ト合吻ス、此脈、別ニ股骨ノ髓養動脈^{ミ、ド、ラ、リ}
トテリス、アヲ分與ス、

第五^丙筋支

ブ、レスキコラ、ハ、股動脈、經過中ニ、分與

丙 ラ、ミ、モスキユラリス

スル所ノ小支ニシテ、縫匠筋、薄股筋、伸股筋、内送
筋等ニ散布ス、

第六^丁吻口動脈

ク、ア、ア、トモキ、ハ、纖細ノ一支ニシ

丁 ア、ナストモチカマダナ

テ、股動脈ノ、大内送筋ヲ穿透スル部ヨリ起リ、下
 テ大内送筋腱ニ布置シ、細分シテ、内大股筋縫匠筋
 薄股筋等ニ循リ近傍ノ諸動脈ト合吻シ膝蓋ニ
 終ル

膝膈動脈

膝膈動脈

アポプリテリール、ハ、股動脈股ノ下三分一

ノ處ニテ、大内送筋腱ヲ穿過セシ后ノ目録ナリ
 其經過ハ、股背ニ沿ヒ、膝關節正中ノ後部ヲ過キ、
 膝膈筋下ニ達シ、分歧シテ、前後ノ小腿動脈ト為
 ル其位置ハ、膝膈ノ深处ニ在テ、順次ニ股骨膝關

甲

ア、ノ、チ、キ、ユ、ラ、リス

節囊韌帶、膝膈筋ノ上ニ布置ス其關係ハ、後部ハ
 同名ノ静脈及ヒ後小腿神經アリ、而テ皮膚層ニテ
 蔽ハル其末梢分支ハ、即チ「關節動脈」筋支「前小腿
 動脈」後小腿動脈是ナリ、

第一關節動脈

アアチキユラリスルハ、五條ノ小支ニ

シテ、膝膈動脈ヨリ起リ、膝關節及ヒ近傍ノ組織
 ヲ榮養ス此脈、上中下ノ三條アリ、以下是ナリ、

上關節動脈

ソバリオアル、アチキユハ、兩髌上ニ、各

一支アリ、股骨ヲ廻テ、關節前面ニ至ル「下關節動

脈

イケンハリオル、アチキモ、亦タ二條ニシテ一支

ハ、外半月狀軟骨ヲ廻轉シ、他支ハ、小腿ノ内髁下
 ヲ過キ、共ニ膝關節前面ニ至ル以上ノ四支、吻口
 動脈及ヒ小腿反行動脈ト密結シテ、緻網ヲ造為
 シ、膝關節ノ前面及ヒ側面ヲ纏絡ス〔中關節動脈
 ミッ、トル、ア、チ、キ、ラ、ハ、囊鞞帶ノ後部ニ入り、膝關
 節十字鞞帶及ヒ關節膜皺襞ヲ榮養ス〕
 第二筋支 モ、ス、キ、ラ、ル、ハ、三、四、条、ノ、小、支、ニ、シ、テ、
 膝膈動脈ヨリ起リ、二条或ハ三条ハ、其上部ヨリ
 起リ、諸屈筋及ヒ大腿筋ニ循ル、他ノ一二條ハ、其
 下部ヨリ起リ、腓腸筋及ヒ腓腸ノ皮膚層ニ循ル、

甲

アチヒアリスアンチカ

前小腿動脈

前小腿動脈

ア、チ、ヒ、ア、リ、ス、ア、ン、チ、カ、

ハ、膝膈動脈末稍

分岐ノ小支ニシテ、骨間膜上部ノ竅ヲ穿通シ、其

前面ヲ下リ、足背ニ至リ、足背動脈ト為ル其關係

ハ、二條ノ靜脈及ヒ前小腿神經ト伴行ス其始端

ハ、長諸趾伸筋ト、前小腿筋ノ間ニ位シ、漸次ニ前

小腿筋ト伸躡筋ノ間ニ下リ、踝部ニ至リ、伸躡筋

腱ト交又シ、環狀鞞帶ニテ蔽ハル其分岐支ハ、即

チ小腿反行動脈筋支、外踝動脈、内踝動脈是ナリ、

天、レ、コ、ル、ア、チ、ヒ、ア、リ、ス、前小腿

甲

アチヒアリスアンチカ

甲
アマルレヲラリス、
エキステルナ

乙
アマルレヲラリス、
インテルナ

筋ノ起点下ヲ上行シ、膝ノ前部ニ蔓布シ、諸他
ノ關節動脈ト合吻ス、
地筋支 フモスキラシル、ハ、數條ノ小支ニシテ、諸
筋ニ散布ス、

玄外踝動脈 レエキステルナル、アテリル、ハ、脚ノ下
部ニ位シ、外方ニ向ヒ、諸伸筋腱下ヲ過キ、外踝

ニ彌蔓シ、近傍ノ組織ヲ榮養シ、輔腿動脈及ヒ

跗骨動脈ト合吻ス、

黄内髁動脈 ヲインテルナル、アテリル、ハ、前支ヨ

リモ細小ニシテ、前小腿筋腱下ヲ過キ、内踝ニ

吻ス、

蔓布ス、而テ後小腿動脈支及ヒ 跗骨動脈ト合
吻ス、

足背動脈

足背動脈 ドロサルナル、ハ、前小腿動脈ノ連幹

ニシテ、踝間ノ跪屈部ヨリ、足背ヲ經過シ、第一骨

間部ノ始端ニ達シ、轉シテ足躡ニ陥入シ、躡弓ヲ

助成ス、其分岐支ハ、即チ **跗骨動脈** **躡骨動脈** **躡背**

動脈 是ナリ、

天跗骨動脈 アタルサリル、ハ、數條ニシテ、其最小

ノ支ハ、跗骨ノ内側ニ循リ、大支ハ、短諸趾伸筋

甲
アトルサリス、ベシス

甲
アタルシー

甲 アメタルシ

乙 アドルサリス、ホル
リキニス、ベニス

下ニ於テ、跗骨ヲ横行シ、外側ニ彌蔓ス
 〔地〕躡骨動脈 メタルシ、アルテノサレハ、躡骨ノ基礎ヲ横
 行シ、足ノ外部ヲ榮養シ、跗骨動脈及ヒ外足躡
 動脈ト合吻ス其經過中ニ數支ヲ分出シ、外位
 二個ノ骨間ニ循リ、又漸次ニ細分シテ、外位四
 趾ノ對側及ヒ小趾ノ外側ニ循ル、
 〔人〕跗背動脈 アドルサリス、ホル
リキニス、ベニス、アルテノサレハ、前方
 向ヒ、第一骨間ヲ走リ、大趾ノ兩側及ヒ第二趾
 ノ内側ヲ榮養ス、

後小腿動脈

甲 アメタルシ

後小腿動脈 アポステリオル、アルテノサレハ、膝膈動脈末稍

分岐ノ殘支ニシテ、恰モ其連幹ノ如シ、脚背ヲ下
 リ、内踝ヲ廻轉シ、跟骨凹陷部ニ至リ、分岐シテ、内
 外足躡動脈ト為シ、其關係小腿骨背ニ於テ、後小
 腿筋ト、長屈趾筋ノ間ニ挿居シテ、二条ノ靜脈、及
 ヒ後小腿神經ト伴行ス、而テ上部ハ、腓腸筋ニテ
 蔽ハレ、然レモ内踝ノ後部ニ於テハ、唯皮膚ト筋
 莖ノニニ蔽ハル、其分岐支ハ、即チ腓骨動脈、筋支、
 骨髓動脈、跟骨動脈、内足躡動脈、外足躡動脈是ナ
 リ、

甲 ア、ヒ、ゴ、ラ、リス

角音言蒙

卷之十一

第一 輔腿動脈

ア、ペ、ロ、子、リ、ル、ハ、後、小、腿、動、脈、始、点、ノ

下、一、^イ、ン、チ、乃、至、二、^イ、ン、チ、ノ、處、ヨ、リ、起、リ、外、方、ニ

向、ヒ、輔、腿、骨、ノ、后、方、ニ、沿、テ、下、降、ス、此、脈、上、部、ハ、後

脗、筋、上、ニ、在、リ、履、底、筋、ニ、テ、蔽、ハ、レ、漸、次、ニ、骨、間、膜

上、ニ、布、置、シ、輔、腿、骨、ト、相、接、シ、長、屈、踡、筋、ニ、テ、蔽、ハ

ル、其、經、過、中、ニ、近、傍、ノ、諸、筋、ニ、衆、支、ヲ、分、與、シ、終、ニ

分、岐、シ、テ、前、後、輔、腿、動、脈、ト、為、ル、ハ、脚、ノ、下

乾 前輔腿動脈

ア、ン、テ、リ、オ、ル、ペ、ロ、子、リ、ル、ハ、脚、ノ、下

部、ニ、於、テ、骨、間、膜、ヲ、穿、通、シ、外、踝、前、ニ、蔓、布、ス、而

テ、外、踝、動、脈、及、ヒ、跗、骨、動、脈、ト、合、吻、ス、ハ、脚、ノ、下

甲 ア、ペ、ロ、子、リ、ボ、ス、チ、カ

坤 後輔腿動脈

ボ、ス、テ、リ、オ、ル、ペ、ロ、子、リ、ル、ハ、外、髁、後、ニ、沿

ヒ、下、テ、跟、骨、側、ニ、至、リ、支、別、シ、テ、踵、及、ヒ、外、髁、部

ニ、蔓、布、ス、別、ニ、横、行、ノ、短、支、ヲ、リ、後、小、腿、動、脈、ト

合、吻、ス、其、他、又、小、支、ヲ、リ、外、髁、動、脈、跗、骨、動、脈、外

足、躡、動、脈、等、ト、合、吻、ス、

第二 筋支

モ、ス、キ、ウ、ラ、ス、ル、ハ、其、數、殆、ト、十、二、條、ニ、シ

テ、近、隣、ノ、諸、筋、ニ、分、布、ス、

第三 髓養動脈

ミ、ド、ラ、ル、ニ、ユ、ト、リ、ハ、小、腿、骨、上、部

ノ、竅、ニ、竄、入、シ、骨、髓、ヲ、榮、養、ス、

第四 跟骨動脈

カ、ル、カ、子、リ、ン、ハ、其、數、二、三、條、ニ、シ

乙 ア、ニ、ト、リ、チ、ノ、チ、ヒ、ア

丙 ラ、ミ、カ、ル、カ、子、リ、イ、ン、テ、ル、ニ

平川

卷之十一

三七

テ、後小腿動脈ノ下部ヨリ起リ、外方ニ向シ、踵部、
跗骨、及ヒ足蹠諸筋頭ニ循ル、

甲
アフランタリスイ
ンテルナ

第五内足蹠動脈インテルナル、アーテルラハ、後小腿

動脈末梢分岐ノ一支ニシテ、大趾内送筋ノ上ヲ
超エ、足蹠内側ニ走ル其經過中ニ、數支ヲ分出ス、

其深在ノ支ハ、跗骨ニ循リ、淺在ノ支ハ、近傍ノ諸

筋及ヒ外皮ニ循リ、終ニ大趾ノ趾動脈ト合吻ス

乙
アフランタリスエ
キステルナ

第六外足蹠動脈エンキステルナル、アーテルラハ、前支

ヨリモ大ニシテ、斜ニ外前方ニ進ミ、末位ノ蹠骨

底ニ達シ、轉シテ内方ニ彎曲シ、足背動脈ノ末梢

ト連結シテ、蹠弓ヲ形成ス其經過ハ、短屈趾筋ト

副屈筋ノ間ヲ行キ、次ニ副屈筋ト、短小趾屈筋ノ

間ニ至リ、其部ノ諸筋、及ヒ外皮ニ支分ス別ニ趾

支バジキナル者アリ、小趾ノ外側ニ循ル、

甲
アイキウス、フランタリス

蹠弓プレキナル、ハ、外足蹠動脈ト、足背動脈ノ結

合ニ由テ、形成スル者ナリ、其位置、蹠骨底部ニ於

テ、骨間筋上ニ在リ、屈筋及ヒ其腱ニ由テ蔽ハル

此弓ヨリ、數支ヲ分出シテ、近傍ノ諸筋、及ヒ關節

ニ循ル、又別ニ左ノ二支ヲ分起ス、

乙
ア、ペルホラシテス

天穿通動脈ア、ペルホラシテス、ハ、小支ニシテ、蹠

甲 アインラルオシー

乙 アマダナ、ホルリキス

骨底ニ穿入シ、蹠骨動脈ノ骨間支ト合吻ス、

地趾動脈シキタリスルハ、其數四條アリ、適數

ノ骨間ニ連テ、趾岐ニ達シ、分岐シテ、趾支シキ

ル、ブレト為リ、諸趾ノ對側ヲ走ル、其第一趾支

ホルラスト、シキタハ、再分シテ、大趾ノ内側ニ循

ル、

肺動脈

肺動脈ホルモナリハ、動脈系ノ首幹ノ一ニシ、

テ、心ヨリ黒血ヲ受テ、兩肺ニ上輸スル者ナリ、其

幹、短濶ニシテ、右室底ノ前部ヨリ起リ、斜ニ上テ

上後方及ヒ左側ニ彎曲ス、大動脈弓下ニ於テ、二

支ニ分岐ス、左右肺動脈是ナリ、其關係、起根ニハ、

大動脈根ヲ被蔽ス、然レモ、稍ヤ高部ハ、大動脈ノ

左側、左心耳ノ前面ニ在リ、岐部ハ、纖維ノ短索ニ

由テ、大動脈弓ノ下面ト擊維ス、是嘗テ胎兒ノ

ニ、動脈管ダクオスト稱セシ者ノ剩蹟ナリ

右肺動脈ライト、ホルモナハ、左肺動脈ヨリモ、長

クシテ、外方ニ向ヒ、上行大動脈、及ヒ上大靜脈ノ

後部ヲ橫行シ、右肺ノ根帯ニ達シ、其一部ヲ形成

ス、

左肺動脈

ソレフト、ホルモナ
ラリ、ア、ラ、リ、ハ、

下行大動脈ノ前面

ヲ横行シテ、左肺ノ根底ニ至ル

其ノ一、

...

...

...

...

...

...

解剖訓蒙卷之十一終

